

急性胆嚢炎 腹腔鏡下胆嚢摘出手術を受ける方へ

患者氏名 _____ 様

病状説明：あなたの病名は、急性胆嚢炎です。胆のうに出来た結石等の影響で腹痛や発熱を生じます。腹腔鏡を用いて、胆のうを切除する手術を行います。入院期間は約1週間です。		退院基準：炎症がない 食事を50%以上食べることができる 痛みをコントロールできる		特記事項：	
外来	入院～手術当日(前) (/)	手術当日(後)	術後1日目 (/)	術後2日目 (/)	術後3日目～術後5日目・退院
検査治療処置 ●血液検査 ●レントゲン撮影 (胸部・腹部) ●心電図検査 ●肺機能検査 ●尿検査 上記の検査を行います。	●リストバンドに名前を記入して取り付けます。 ●左手に点滴用の管を入れます。	●手術直後は30分後、1時間後と2時間後、6時間後、12時間後に検温します。 ●酸素をつけます ●血液循環を良くするため、足にフットポンプをつけます。	●体温・脈拍・血圧を1日3回測ります。 ●酸素を外します。 ●ガーゼ交換をします。 ●血液検査をします。 ●フットポンプを外します。	●体温・脈拍・血圧を1日1回測ります。 ●午前9時頃より医師・看護師による回診があります。回診時、傷の確認をします。きれいな傷なら、消毒はありません。ガーゼをはずします。	●体温・脈拍・血圧を1日1回測ります。 ●傷の確認をします。
薬剤 ●普段内服している薬がありましたらお知らせ下さい。	●点滴を行います	●痛みがある時は痛み止め、熱がある時は解熱剤を使うことがあります。 ●吐き気があれば看護師にお知らせ下さい。			
安静度	●ベッド上安静です。 ●ベッドで手術室に入室します。	●ベッド上安静です。(寝返りはできません)	●歩行の許可が得られます。	●積極的に歩くようにしましょう。	
リハビリテーション	●仰向けで深呼吸の練習をして下さい。	●目が覚めたら、深呼吸をして下さい。	●看護師によるリハビリテーションを行います。	最初は座る練習から始め、徐々に歩いて下さい。最初は看護師が付き添います。	
排泄	●制限はありません。	●制限はありません。	●手術中に尿を出す為の管が入ります。	●尿の管を抜きます。	
清潔	●入浴できます。	●手術部位の除毛とお臍の掃除をします。 ●男性はひげそりをして下さい。 ●油分の多いクリームをつけたり、マニキュアや化粧は止めて下さい。 ●時計、指輪等のアクセサリー、入れ歯、かつら等外せるものは外して下さい。	●体を拭き、パジャマに着替えます。	●シャワー浴の許可が出ます。(術後2日目から)	
食事栄養管理	●食事や水分を摂ることはできません。	●帰室後、3時間後より水分をとることができます。	●昼より普通食 (お粥、軟菜)	●朝から普通食 (ご飯 普通菜)	
説明指導教育	<手術の必要物品> <input type="checkbox"/> ティッシュペーパー1箱、 <input type="checkbox"/> パジャマ1枚、 <input type="checkbox"/> 下着1枚 <input type="checkbox"/> ビニール袋1枚 <input type="checkbox"/> 洗面道具 <input type="checkbox"/> コップと曲がるストロー <input type="checkbox"/> 入れ歯入れ(必要時) <input type="checkbox"/> 内服薬 ※ひとつずつに名前を書いてください。	●病棟の案内をします。 ●手術前後の経過について説明します。(主治医・看護師) ●手術室看護師の訪問があります。 ●薬剤師からお薬の説明があります。 ●喫煙されている方は禁煙して下さい。 ●朝・昼・夕・寝る前にうがいをしてください。 ●眠れない時は、看護師にお知らせ下さい。	●術後の安静を守り、頻回に観察するため、手術後は24時間を目安に回復室に入室していただきます。 ●転落、転倒等不測の事態を避けるため、ベッド柵を取り付けます。 ●痰は飲み込まずに出してください ●管が入っていますので、抜かないようにしてください。 ※ご家族の方へ主治医から手術結果の説明があります。(看護師が案内します) ※ご家族の方の面会は回復室にて行います。短時間、少人数でお願いします。	●状態を見て、病室に戻ります。	●手術室看護師の訪問があります。
サイン					